

科目名	副題	科目概要
英語教育学01	英語教授法論	本講義では、日本における英語教育の歴史と学習指導要領の変遷を外観し、文法訳読方式、ナチュラルアプローチからFocus on FormやCLILに至るまで、これまでに提唱される各種英語教授法の特徴と問題点について考察するとともに、その理論的背景についても概観する。また、認知スタイルや動機付けなど、言語習得にとって不可欠な要素である学習者の特性についても言及する。さらに、音声・語彙・文法・読解・聴解・表現・異文化理解など、個別項目の指導法について考察する。この科目を通して、英語教授法に関する基礎的知識と現状の問題点を把握した上で、望ましい指導法を探ることができるようになる。
英語教育学02	第二言語習得論	本講義では、第二言語習得論研究を概観する。中間言語、言語転移、気づき、普遍文法、語用論、社会言語学、動機付け、インプット・インタラクション・アウトプット、習得年齢、言語特性、ストラテジー、第一言語と第二言語の脳内ネットワーク等を取り扱う。この科目を通して、時系列に沿って第二言語習得研究がどのように進められてきたかを習得することができる。
英語教育学03	英語学(音声学・音韻論)	本講義では、まず英語の音声言語教育や音声研究を行う上で基礎知識として知っておくべき音響音声学や調音音声学について論じる。次に、様々な音声現象を合理的に説明するために不可欠な音韻論の学習を通じて、基礎的な音声規則を学び練習を行う。さらに、日・英の音声的特徴を比較対照することで、母語の干渉や発音矯正方法なども考察する。この科目を通して、言語教育に必要な音声学の知識と音声分析ソフトなどを活用した分析の手法を身につけることができる。
英語教育学04	英語学(文法論)	どの言語にも、その言語独自の決まり(文法)がある。そのため、英語教育を行う際にも、明示的であるか否かの別はあっても「文法」はその基盤となる。本講義は、英語教育学プログラムに位置付けられているので中学生、高校生、大学生が接する「学習英文法」の内容を重視して、コミュニケーション力を伸ばすことにも資する英文法がどのような内容であるべきかを検討し、近年の(理論的・実証的な)英語学研究の成果をどのような形で取り入れると学習英文法の改善が促されるかを具体的に検討する。この科目を通して、英語教育に必要とされる英語学・英文法研究の現状を把握し、分析方法の基本を身につけることができる。
英語教育学05	早期英語教育論	この科目では、小学生を対象とした英語教育に直接、間接にたずさわることを希望する人が、こどもの外国語習得のメカニズムを知り、それにあった授業のあり方をさぐり、現在の日本の小学校英語および英語教育における小中連携の改善のために何らかの研究をするノウハウを身につけることを目的とする。学生は、子どもの外国語習得、教授法の理論、現在の英語授業サンプル視聴、その特色について学ぶ。さらに、小学生を対象とした英語教育のための教材、カリキュラム、指導法、もしくは、小中連携の英語教育について何らかの観点で研究を行うノウハウを経験し、英語教育のプロとして、この分野の責任の一端をになえる人材になることを目的とする。
英語教育学06	言語教育における測定と評価	本講義では、言語テストの測定と評価における二つの側面について扱う。つまり、(1)外国語としての英語・日本語能力を測定するための適切なく道具の作成・開発方法、および(2)テスト結果の処理と分析の側面である。(1)においては、言語テストの歴史を外観しながら、既存テストやスキル別テストの構成概念について講義する。また、テスト作成原理を紹介し、テスト開発の一側面を経験する。(2)では、サンプルデータをもとに、テスト結果の分析方法(項目分析、項目応答理論等)について紹介する。この科目を通して言語プログラムに関わる者として必要となる知識を得ることができる。
英語教育学07	英語教育における語彙習得論	本講義では語彙習得論、特に英語教育における語彙の指導や学習者による学習活動を考える。語彙習得の4つの原則、全体の講義計画における語彙指導の組み込み方、フラッシュカードやオンライン学習など様々な語彙指導方法の学習効果とその評価基準、リーディングやリスニングなどの学習活動に必要な語彙量とレベルなどをテーマに取り上げ、最良の語彙学習法とは何かを検討する。この科目を通じて、語彙の指導や学習活動に必要な語彙習得論の専門的知識を身につけることができる。
英語教育学08	英語教育学の諸問題	本講義は英語教育学プログラムの通常カリキュラムを補強することを目的とし、必要に応じて発展的・特定のテーマを扱う。科目内容はシラバスに記載する。

科目名	副題	科目概要
英語教育学演習01	英語教材開発演習	本演習では日常の授業の中で、教員がコースやクラスレベルの状況あるいは授業の目的に適合した各種教材や、種々の目的に応じたテスト問題を自ら作成する際の基本的な概念を習得し、実際に教材やテスト問題を作成する。教材作成に関しては、中高レベルの読解・文法・リスニング・発音等を対象とする。テスト作成に関しては、作成教材の効果を検証するテスト問題作成を行う。
英語教育学演習02	英語教育インターンシップ	この授業は、派遣先の教育現場での体験的学習を目的とするものである。授業参観、生徒の学習サポート、放課後の個別指導などに留まらず、担任業務や校務分掌及びクラブ活動の指導等の教育活動なども体験的に学ぶ。事前研修で現代の日本における教育の現状、問題点や、派遣先の高等学校の事情、生徒と接する時に必要とされるマナーなどを講義する。事後研修では、それらの体験を通じて学んだことを報告し、英語教員としての将来への展望を討議する。
英語教育学演習03	英語授業研究演習	高い英語力を持ち、最新の英語教授法や第二言語習得論の研究成果に精通しているだけでは、英語教育現場で通用するとは限らない。特定の学習者に、効果的な教材と教授法を用いて教育を実践する能力も必要である。本演習では、対象者と指導法を指定された状況下で(例えば、英文和訳と文法指導のみを受けてきた中学三年生対象にFocus on Form手法で授業を実施)、指導案を作成し実際にマイクロティーチングを行い、その後ビデオデータによる授業分析を行う事で授業実践力の養成を図る。
英語教育学演習04	電子教材開発演習	コンピュータ利用の言語学習(CALL)の理論と応用についての研究成果を踏まえながら、マルチメディア教材作成方法を学ぶ。コースウェアを活用し、講義と演習を組み合わせて行われ、最新のテクノロジーと学習理論を踏まえた関連文献の紹介やトピックごとのオンライン討議をする一方、利用可能なメディア素材例をとりあげ、テキスト、静止画、動画、音声の収集と加工、編集の方法を経験し、収集した言語・文化素材を教材開発をする演習も行い、アカデミック・ジャーナルとソフトウェアのレビュー、CALL教材の試作をし、電子教材開発能力を高めることとする。